研究部長挨拶

平成五年度を迎えて

印教研理科研究部長　印西中学校長　牧野　隆

今年は、例年に比べて新緑が鮮やかに感じられますが、いかがでしょうか。自然に親しみ自然とのふれあいを日常としている皆さんは、敏感に感知されているものと思います。

平成5年度を迎え、中学校においても改訂学習指導要領が実施の運びとなりました。新しい学力観に基づく授業改善が、小中相互の関連の下にすすめられています。理科教育においては、特に自然とのふれあいが重視され、直接体験を通して自然への関心を高めたり意欲的に探求しようとする態度や科学的思考力・判断力の育成が重視されています。

この様な中で、印旛の理科研究部も、現場のニーズに対応した事業を推進していかなければならないと考えます。主要な事業は総会で決定しました通り例年と変わりませんが、内容や方法については改善を加え、会員の皆さんのご要望に沿うべく努力して参りたいと思いますので、ご支援ご協力方よろしくお願いいたします。

教研の推進、実技研修会、理科作品展につきましては、各部会の活動が主体となりますので、部長さんを中心にした協力体制が、成果を左右することになるでしょう

理研会報の発行に関しては、計画に従い年間一〇回の発行を果たし、皆さんの機関誌としてより一層の充実を期したいと思います。

印教連研究指定校への支援活動ですが、本年度から印西町立小林小学校が指定校となりました。前年の南山小学校同様、すばらしい実践研究が積み上げられるものとご期待申し上げます。

本年度は、千教研理科研究発表大会が印旛大会として佐倉小、佐倉中を会場にして開催されます。「自然とのふれあいを重視した理科教育」をテーマに、会場校の授業展開・研究発表、小中八分科会の研究発表、記念講演等が予定されています。会員の皆さんには、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

平成五年度 事業計画案

・五月十二日　印教研　理科研究部総会（成田小学校）
・六月十八日　研究員集会（成田小学校）
＊夏休み中　理科実技研修会
　現場研修会
　（各部会単位で実施）
・九月十七日　研究員集会（成田小学校）
・九月二十一日～二十四日　理科作品展（成田小学校）
・十月四日　印教研集会（成田小学校）
＊年間『理研会報』の発行
＊研究学校への協力
　印教連指定
　印西町立小林小学校
＊千理研印旛大会の開催
　会場校　佐倉小、佐倉中

平成五年度 印教研 理科研究部 研究テーマ

〈研究主題〉

子どもたちが興味を持ち、主体的に参加する理科学習は、どのようにすればよいか。

〈主題設定の理由〉

身のまわりには自然がたくさんあるが、その自然を利用しての理科学習が行われているかということになると課題が多く残る現状である。

子どもたちが自然を見つめ、自然の中にとけこんでいく中で、自然を自分の身体で受け止め、感じ取れるような理科学習であろうと努力している。

自然に直接働きかけながら観察実験を行い、それを調べる態度や技能をどう育てていけばよいか、指導法・教材の選択などを考えていきたい。

平成五年度 理科研究部役員一覧

◎理科研究部長
・牧野　隆（印西中）
◎理科研究副部長
・間宮哲人（内郷小）
・加藤弘明（旭中）
◎各部会理科研究部長
＊一部会部長
・大野尊史（内郷小）
＊二部会部長
・阿波嵜守（富里中）
＊三部会部長
・松田治久（印西中）
＊四部会部長
・富谷　稔（二州小）
＊五部会部長
・森　成雄（八木原小）

◎理事
一部会
・今井正臣（根郷小）
・石井望（佐倉東小）
・徳田進（千代田小）
・吉井猛彦（酒々井小）
・石田政光（佐倉小）
・間宮哲人（内郷小）
・佐藤光廣（小竹小）
・佐藤久司（井野小）
・斉藤政勝（井野中）
・飯田和宏（佐倉小）
・大野尊史（内郷小）
・杉山栄一（酒々井中）
二部会
・湯浅　潔（根木名小）
・伊藤忠夫（日吉台小）
・山下万吉（浩養小）
・木川　香（公津小）
・宮本久男（成田中）
・小林　茂（富里中）
・林田孝二（栄中）
三部会
・佐藤幸納（大森小）
・久本邦夫（六合小）
・牧野　隆（印西中）
・今井和彦（小林中）
・本橋茂次（南山中）
・川邉久男（七次台中）
・伊藤久男（大森小）
四部会
・古嶋美文（八街中）
五部会
・五味　健（中央小）
・安井寅蔵（吉岡小）
・寺内義雄（四街道西中）
・加藤弘明（旭中）

◎幹事
・関口勝義（清水口小）
・岩井　睦（成田中）
・佐久間保男（佐倉小）
・深山民夫（成田小）

＝編集後記＝

平成5年度　第一号（通算二二八号）の理研会報を、お届けいたします。

今年度は、千教研理科研究発表大会が、印旛大会として佐倉小、佐倉中を会場にして開催されます。会報の発行については、この大会の記念号も含めて、年間十号発行を目標にしていきたいと思います

より一層、充実した内容のものにしていき、会員の先生方に少しでも身近な存在である『理研会報』にしてまいりたいと思います。ご協力、よろしくお願いいたします。

印教研　理科研究部事務局

☆投稿等につきましては、各部会部長にお尋ね下さい。